

平成22年9月18日
宇宙航空研究開発機構

準天頂衛星初号機「みちびき」の ドリフト軌道への投入結果について

宇宙航空研究開発機構（JAXA）は、平成22年9月12日（日本時間）の準天頂衛星初号機「みちびき」の第1トランスファ軌道への投入後、9月17日までにアポジエンジンを5回噴射して、同衛星をドリフト軌道に投入する作業を行ってきました。

5回目のアポジエンジン噴射後の衛星の軌道計算を行った結果、同衛星は、以下のとおり所定のドリフト軌道に投入されたことを確認しました（添付参照）。

	決定値	計画値
遠地点高度	38,974 km	(38,975 km)
近地点高度	32,071 km	(32,051 km)
軌道傾斜角	41.0度	(41.0度)
周期	23時間43分	(23時間42分)
ドリフト率	3.5度/day	(3.6度/day)

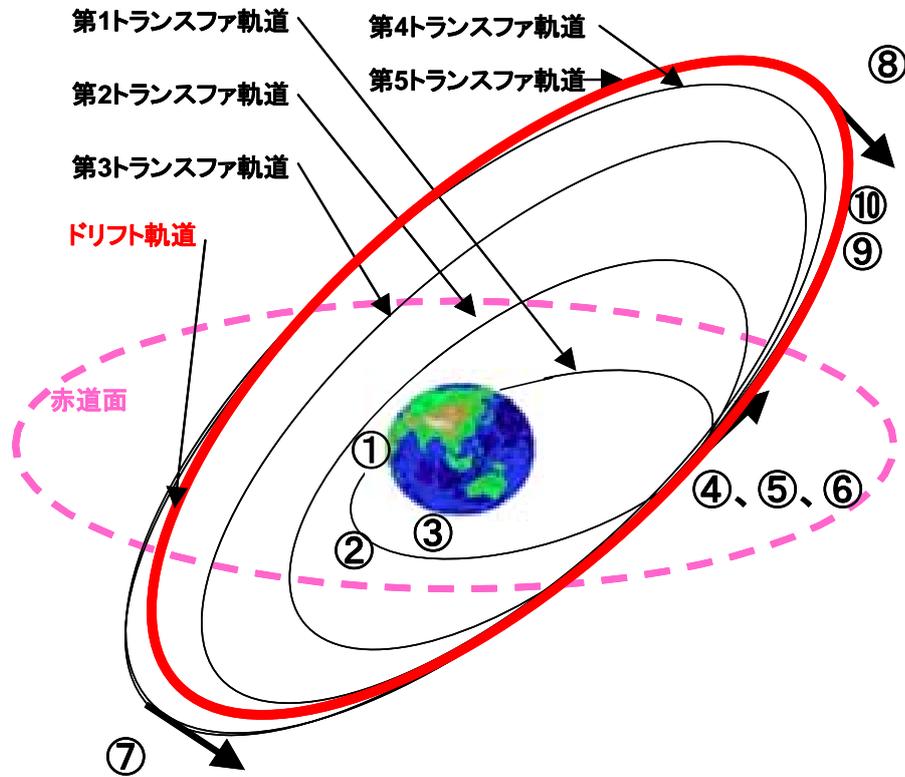
衛星の状態は正常です。

今後、同衛星は、姿勢制御モードを通常時に使用する測位アンテナを地球方向に指向させ飛行する定常制御モードへ移行する予定です。

定常制御モード移行結果については、9月19日23時30分（日本時間）頃に発表を予定しています。

（補足）

- ・ドリフト率 : 地上から見て、衛星が経度方向に移動する速さ
- ・トランスファ軌道 : 衛星がロケットにより打上げられた後、最終的な準天頂軌道に投入されるまでの間に一時的に投入される軌道。
- ・トランスファ軌道フェーズ : 衛星/ロケット分離から第5AEF終了後、三軸姿勢確立完了までの期間



イベント	周回数
①衛星分離	1
②太陽電池パドル展開	1
③太陽電池パドル太陽捕捉	1
④第1回アポジエンジン噴射	2
⑤第2回アポジエンジン噴射	4
⑥第3回アポジエンジン噴射	5
⑦第4回アポジエンジン噴射	7
⑧第5回アポジエンジン噴射	8
⑨パドル自動追尾	10
⑩定常制御モード移行	10

「みちびき」の飛行計画